

第21回医療情報学連合大会概要（第2回日本医療情報学会学術大会）

会 期：2001年11月26日（月） 27日（火） 28日（水）

会 場：東京ファッションタウンビル（TFTビル）
東京都江東区有明3丁目1番

参加費：【会員】

（日本医療情報学会員のほか、共催学術団体の個人会員も会員参加費の適応となります）

当日登録・会員（論文CD ROMを含む） ￥15,000

当日登録・会員1日（論文CD ROMを含む） ￥10,000

【非会員】

当日登録・非会員（論文CD ROMを含む） ￥18,000

当日登録・非会員1日（論文CD ROMを含む） ￥12,000

当日登録・学生（論文CD ROMなし） ￥2,000

別売・論文集冊子（宅配便送料を含む）当日登録 ￥5,000

懇親会：2001年11月27日（火）

場 所：東京ベイ 有明ワシントンホテル「アイリス」

参加費：¥7,000

論文集冊子、懇親会参加費については、会員・非会員の区別はございません。

ご挨拶

- 第21回医療情報学連合大会（第2回日本医療情報学会学術大会）の開催にあたって -

大会長 稲田 紘

東京大学大学院工学系研究科・教授

第21回医療情報学連合大会は、2001年11月26日（月）～28日（水）の3日間、東京都江東区のウオーターフロントにある東京ファッションタウンビル（東京国際貿易センター）にて開催されます。この会場は都心から少々離れていますが、新橋駅からの東京臨海新交通（ゆりかもめ）や東京モノレール・天王洲アイル駅経由での東京臨海高速鉄道（りんかい線）を利用すれば、東京駅からも羽田空港からも約30分でアクセス可能です。

今回は医療情報学連合大会として21回を数えるとともに、昨年から正式な大会となった日本医療情報学会主催の第2回学術大会でもありますが、昨年とほぼ同じく19の学術団体の共催をいただくことができました。このため、従来の連合大会としての流れを基本としながらも、開催方針などその方向性について、今後の日本医療情報学会としての学術大会のあり方の機軸を打ち立てる礎としての役割を果たすことができると考えています。

さて、本大会は21世紀になって初めての大会ですので、IT（情報技術）を応用した医療のさらなる発展を願い、「ITによる新世紀の医療」というテーマを掲げました。新世紀を迎え、わが国の高齢・少子化がいつそう顕著化するなか、医療の役割は福祉との連携を強く求められるなど、ますます重要性を増すとともに、その担う役割も拡大の一途をたどっています。こうした情勢にあつて、ITの適切な応用をはかることにより、「医療技術の革新」はもとより、「医療・福祉マンパワー不足への対処」や「医療におけるリスクマネジメントの確立」など、最近の諸課題の解決をめざす一方で、「EBM（Evidence-based Medicine）の推進」といったように、医学・医療のよりいっそうの科学化の実現をはかることが要請されます。

このような点も勘案し、本大会の特別講演として、海外からはアメリカ・ニューヨークのコロンビア大学医学部のE. H. Shortliffe教授を、また国内では東京大学医科学研究所の中村祐輔教授を招請させていただきます。このうち、人工知能の医学応用のバイオニアとして有名なShortliffe教授は、2004年にサンフランシスコで開催予定のMEDINFO2004の組織委員長を務められますが、今回はアメリカにおいて進められている「次世代における医療分野におけるインターネットの利用」に関する講演をしていただきます。そして、中村教授には「ゲノム情報に基づくオーダーメイド医療」に関して、講演していただくことになっています。また、シンポジウムとして、「新世紀の医療への挑戦と医療情報の役割」、「医療情報の標準化」、「医療におけるリスクマネジメント」のように、特別講演と同様、大会テーマにふさわしい企画がなされました。こうしたプログラム委員会の企画による約100題の演題のほか、約350題の一般演題が予定されています。さらに、昨年ほどの規模ではないものの、関連企業による数々の工夫を凝らした企業展示が催されます。

わが国の経済は、大会開催準備期間中にこれまで以上に低迷状態に陥るとともに、思いがけない「IT不況」なるものが到来したことに加え、アメリカのテロに起因するさらなる不況感の追い打ちを受け、まったく先の見えない状況にあります。関係学会・諸団体・企業の多数の方々のご尽力・ご協力により、何とか開催にこぎつけることができました。医療にITを応用する医療情報学は、まだ十分とはいえませんが、その必要性からしても、今後のわが国におけるITの利用をリードする一つの大きな分野であると期待されます。このため本大会が、医学・医療分野における学術的な面での寄与のみならず、産業・経済面においてもIT利用の活性化を促す一助となることを願っています。

今回は会場の都合により会期が平日になりましたが、東京では1993年の第13回大会以来と久しぶりの開催でもありますことから、多数の皆様方のご参加のもとに、今後の医療情報学の発展をめざした活発な議論が繰りひろげられ、新世紀における医療・福祉に貢献する成果が得られることを強く念じております。

プログラム委員長挨拶

プログラム委員長 渡邊 亮一
自治医科大学看護短期大学・教授

第21回医療情報学連合大会（第2回日本医療情報学会学術大会）の開催に際して、プログラム委員長として一言ご挨拶申し上げます。

今回の大会は、大会長の挨拶にも述べられておりますように、今日の医療に欠くことができないものとなっているIT（情報技術）を幅広く医療に応用することによって、21世紀の医療をさらに発展させたいと願って、メインテーマを「ITによる新世紀の医療」としました。しかし、一方で、ITを応用した医療を今後さらに発展させるためには、まだ数多くの課題が山積しております。そこで、今回の大会では、このような課題を克服するための方策をご議論いただくために、特別プログラムとして、特別講演4題、シンポジウム5題、パネルディスカッション4題、オーガナイズドセッション6題、ワークショップ9題と盛り沢山の内容を企画させていただきました。これらの企画が、今回の大会にご参加いただいた方々に多少なりとも参考になり、これからの医療や医療情報学の発展にいささかでも貢献できればと願っています。

さて、今回の大会では、一般口演、ポスター、HyperDEMOなどの一般公募演題には、410題の演題のご応募をいただきました。今回は、演題の応募（抄録の登録）、論文の投稿はすべて、UMIN（大学病院医療情報ネットワーク）のオンライン学術集会演題抄録登録システムおよび論文投稿システムを用いて行っていただくことにしましたので、このような方法での応募に不慣れな方や締切日に登録された方にはアクセスの集中による混雑でご不便をおかけしたことと思っておりますが、それにもかかわらず、前述のように多数の演題のご応募をいただきましたことを心より感謝申し上げます。なお、今後は、本学会は言うにおよばず、他の学会でも、WWWを用いた演題募集方式の採用が増加していくものと思われるので、その意味では、今回の学会はその先駆けになったのではないかと考えております。

皆様方からご応募いただきました演題は、それぞれについて、プログラム委員、副大会長、プログラム委員長のあわせて3名による査読を行い、発表形式の変更や抄録の修正などをお願いいたしましたが、残念ながら、一部の演題は不採用とさせていただきます。800文字の抄録で不採用を決められるのかというご意見もいただきましたが、前回の大会から、印刷物としては大会当日に論文集を配布せず、抄録集のみを配布することにしておりますので、800文字の抄録で発表の内容がわかるものであることを大きな基準として採否を決定させていただきました。

ご応募いただいた一般演題に対しては、今回の学会でも、前回に引き続き、総合、ベストポスター、ベストHyperDEMO、U-35（若手奨励賞）、企業筆頭演者の5つの優秀演題賞を設け、選考・表彰することにしております。なお、優秀演題賞の表彰は、明年6月に開催される日本医療情報学会シンポジウム2002で行う予定です。

最後に、今回の大会のシンポジウム、パネルディスカッションなどの特別プログラムの一部はプログラム委員会で企画いたしました。ほとんどは共催団体の方々や日本医療情報学会の評議員の方々にご企画いただきました。また、演題の査読や優秀演題の選出については、プログラム委員の方々にはたいへんお世話になりました。お名前を個々には記しませんが、本紙面を借りて厚くお礼申し上げます。さらに、プログラムの全体を編成するにあたっては、副大会長（プログラム担当）の大江和彦教授に多大なご尽力をいただきました。また、プログラムの編成や抄録集・論文集の製作などの実務では、東京大学医学部附属病院中央医療情報部の渡辺宏樹先生ならびに村上こずえさんにたいへんお世話になりました。厚くお礼申し上げます。

実行委員長挨拶

実行委員長 秋山 昌範
国立国際医療センター情報システム部・部長

このたび、第21回医療情報学連合大会（第2回日本医療情報学会学術大会）を開催するにあたりまして、ご挨拶させていただきます。

さて、21世紀を向かえ、日本の医療・福祉制度は大きく変わろうとしています。時代背景として、IT（Information Technology）革命といった言葉が流行になっているように、今後の社会環境を効率的、効果的にしていかなければなりません。既に厚生労働省より診療録等の電子保存に関する通達も出され、電子カルテが現実のものとして導入が始まっています。また、e-JAPAN戦略の中でも、医療は重要なテーマとして位置付けられ、グランドデザインも発表されました。このような中で、保健・医療・福祉における情報化は、非常に重要かつ緊急性を要する課題となってきました。したがって、保健・医療・福祉分野においても、情報革命が必要であるというのは異論のないところです。既に、医療においては、遠隔医療や電子カルテなど多くの試みがなされています。

昨年、第1回の日本医療情報学会学術大会となり、学術大会の性格としての改革が行われ好評を得ました。このような経緯を踏まえ、本大会でも、十分な討議時間、PC持参による口演発表、議論が深まるHyperDEMOなどの発表形式は継承いたしました。また、論文集をCD-ROM化し、冊子は希望者への配送なども昨年と同様にいたしました。好評のランチョンセミナーも実施いたします。

また、本年は企業展示におきましても、新しい試みをいたします。展示していただきます各企業に、大会本部より画像や検査、レポートファイルを提供し、各企業には同じ情報を主要な各社のアプリケーションで、デモしていただきます。これによりまして、従来より一歩踏み込んだ比較検討ができるのではないかと、期待しております。さらに、スタンプラリーを実施いたしまして、スタンプを集められた参加者の方々には、各企業のソリューションを集めたCD-ROMを、無料で配布いたします。したがって、会場で十分検討できなかった点などを、施設に持ち帰りいただき、参加できなかった方々と一緒に追加検討していただけるものと期待しております。

どうぞ多数の会員の先生方の御参加を心よりお待ちしております。

【共催学術団体】 19 団体

日本医学放射線学会	日本医学図書館協会
日本医療薬学会	ライフサポート学会
日本エム・イー学会	日本コンピュータ外科学会
日本診療録管理学会	日本臨床衛生検査技師会
日本総合健診医学会	国際医学情報センター
日本病院管理学会	医療情報システム開発センター
日本福祉介護情報学会	流通システム開発センター
日本放射線技術学会	看護図書館協議会
日本臨床化学会	全国医療情報システム連絡協議会
日本臨床検査医学会	

【大会役員】

大会長	稲田 紘	東京大学大学院工学系研究科
副大会長	大江 和彦	東京大学大学院医学系研究科
副大会長	土肥 健純	東京大学大学院情報理工学系研究科
プログラム委員長	渡邊 亮一	自治医科大学看護短期大学
実行委員長	秋山 昌範	国立国際医療センター情報システム部
事務局長	小野木 雄三	東京大学大学院情報学環

【プログラム委員会】

委員長

自治医科大学看護短期大学

渡邊 亮一

副委員長

東京大学大学院新領域創成科学研究科

佐久間一郎

委員（五十音順）

東京慈恵会医科大学環境保健医学教室

縣 俊彦

慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室

池田 俊也

国立がんセンター研究所がん情報研究部

石川 光一

和歌山県立医科大学医学医療情報研究部

入江 真行

鹿児島大学医学部保健学科

宇都由美子

北海道大学医学部附属病院医療情報部

遠藤 晃

川崎医療福祉大学医療情報学科

岡田美保子

東京大学大学院情報学環

小野木雄三

京都大学医学部附属病院医療情報部

小山 博史

N T T 東日本関東病院薬剤部

折井 孝男

東京大学医学部附属病院中央医療情報部

木内 貴弘

国際医療福祉大学医療福祉学部医療経営管理学科

小出 大介

秋田大学医学部附属病院医療情報部

近藤 克幸

名城大学大学院都市情報学研究科

酒井 順哉

北里大学医療衛生学部医療情報学

竹内 昭博

浜松医科大学医学部附属病院医療情報部

谷 重喜

北里大学医療衛生学部医療情報学

鶴田 陽和

名古屋大学医学部保健学科

中木 高夫

埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科

中崎 啓子

滋賀医科大学医学情報センター

永田 啓

聖マリアンナ医科大学予防医学教室

濱島ちさと

長崎大学医学部附属病院医療情報部

本多 正幸

福井医科大学医学部附属病院医療情報部

山下 芳範

東京大学医学部附属病院中央医療情報部

渡辺 宏樹

【実行委員会】

委員長

国立国際医療センター情報システム部

秋山 昌範

幹事（五十音順）

慶應義塾大学医学部放射線学教室

安藤 裕

日本アイ・ピー・エム株式会社ヘルスケア事業部

稲岡 則子

監査法人太田昭和センチュリー医療福祉部

清谷 哲朗

国立大阪病院臨床研究部

楠岡 英雄

株式会社クラヤ三星堂CSセンター

小林 正弘

財団法人医療情報システム開発センター

佐々木哲明

千葉大学医学部附属病院医療情報部

高林克日己

日本病院薬剤師会

土屋 文人

聖路加国際病院

中村 清吾

国立国際医療センター情報システム部

中村 幸夫

神戸大学医学部附属病院医療情報部

宮本 正喜

福井医科大学附属病院医療情報部

山下 芳範

委員（五十音順）

日本電気株式会社医療ソリューション事業部

赤塚 彰

東芝メディカル株式会社システム事業本部

岡 和彦

株式会社ニコンインステック第二営業本部バイオメディカル部

秋山 広治

富士通株式会社公共営業本部医療統括営業部

阿曾沼元博

株式会社ケアコム

池川 充洋

国立がんセンター研究所がん情報研究部

石川 光一

三菱電機株式会社病院医療事業部

井口 俊秋

慶應義塾大学医学部医療政策管理学教室

池田 俊也

愛媛大学医学部附属病院医療情報部

石原 謙

山口大学医学部附属病院医療情報部

井上 裕二

松下電器産業株式会社健康医療事業推進室 / 株式会社メディカルプラッツ

今中 良一

和歌山県立医科大学先端医学研究所

入江 真行

鹿児島大学医学部保健学科

宇都由美子

日本大学医学部医療管理学教室

梅里 良正

国立大阪病院臨床研究部

大江 洋介

東海大学医学部

大櫛 陽一

三菱電機株式会社病院医療事業部企画部

大坪 道夫

大橋産婦人科

大橋 克洋

大阪府立健康科学センター健康度測定部

岡田 武夫

川崎医療福祉大学医療情報学科

岡田美保子

住友電工システムズ株式会社医療情報システム事業部

小倉 常睦

N T T 東日本関東病院薬剤部

折井 孝男

梶原病院	梶原賢一郎
富士通株式会社公共営業本部医療第一営業部	川鍋 信行
慶應義塾大学病院放射線科	国枝 悦夫
株式会社NTTデータ公共地域ビジネス事業本部	窪寺 健
国際医療福祉大学医療福祉学部	小出 大介
日本アイ・ビー・エム株式会社ヘルスケア事業部	小堀 均
滋賀医科大学基礎学生命情報学	小森 優
秋田大学医学部附属病院医療情報部	近藤 克幸
鳥取大学医学部附属病院医療情報部	近藤 博史
名城大学大学院都市情報学研究科	酒井 順哉
大分医科大学医療情報部	島岡 章
日本電気株式会社医療ソリューション事業部	島田 典明
北里大学医療衛生学部医療情報学	竹内 昭博
株式会社日立製作所公共システム事業部	竹沢 善孝
住友電工システムズ株式会社医療情報システム事業部	武田 芳郎
浜松医科大学附属病院医療情報部	谷 重喜
名古屋大学医学部保健学科	津坂 昌利
オリンパス販売株式会社医療情報システム部	東福寺幾夫
朝日アーサーアンダーセン株式会社ビジネスコンサルティング	豊田 建
大阪警察病院	内藤 道夫
日本電気株式会社医療ソリューション事業部	永井 肇
名古屋大学医学部保健学科	中木 高夫
埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科	中崎 啓子
国立循環器病センター研究所疫学部	中沢 一雄
筑波大学臨床医学系	長瀬 啓介
滋賀医科大学医学情報センター	永田 啓
島根医科大学医学部医療情報学講座	柳樂真佐実
株式会社東芝医用システム社医用ソリューション推進部	西原栄太郎
株式会社日立製作所公共システム事業部	橋詰 明英
東京大学医学部附属病院中央医療情報部	波多野賢二
聖マリアンナ医科大学予防医学	濱島ちさと
東海大学医学部医用工学情報系	春木 康男
日本光電株式会社医療情報技術事業部	平井 正明
金沢大学医学部附属病院薬剤部	古川 裕之
長崎大学医学部附属病院医療情報部	本多 正幸
社団法人北里研究所病院放射線科	村田晃一郎
琉球大学医学部附属病院医療情報部	山崎 俊司
財団法人医療情報システム開発センター	山田 恒夫
熊本大学医学部附属病院医療情報部	吉原 博幸

【事務局】

東京大学大学院情報学環	(事務局長) 小野木雄三
国立国際医療センター情報システム部	中村 幸夫
国立国際医療センター情報システム部	草場 葉子
東京大学医学部附属病院中央医療情報部	渡辺 宏樹
東京大学医学部附属病院中央医療情報部	村上こずえ

【協賛学術団体】 57 団体 (順不同)

日本Mテクノロジー学会	日本バイオテクノロジー学会
日本医科器械学会	日本泌尿器科学会
日本医学物理学会	日本病院会
日本医師会	日本病理学会
日本移植学会	日本麻酔科学会
日本栄養士会	日本薬学会
日本音声言語医学会	日本理学療法士協会
日本解剖学会	日本臨床薬理学会
日本眼科学会	バイオメカニズム学会
日本看護協会	計測自動制御学会
日本癌治療学会	国立大学附属病院 医療情報処理部門連絡会議
日本救急医学会	電子情報通信学会
日本胸部外科学会	保健医療福祉情報システム工業会
日本健康科学学会	兵庫県医師会
日本行動計量学会	和歌山県医師会
日本行動療法学会	大阪府医師会
日本産科婦人科学会	京都府医師会
日本産業衛生学会	奈良県医師会
日本磁気共鳴医学会	日本診療情報管理士協会
日本耳鼻咽喉科学会	日本画像医療システム工業会
日本集中治療医学会	日本看護科学学会
日本循環器学会	東京都医師会
日本人工臓器学会	情報処理学会
日本心身医学会	日本めまい平衡医学会
日本心電学会	日本皮膚科学会
日本超音波医学会	日本医学教育学会
日本人間工学会	日本核医学会
日本脳神経外科学会	日本癌学会
日本バイオマテリアル学会	

【協力企業・団体】(五十音順)

株式会社浅沼商会	株式会社トーショー
株式会社アステックコーポレーション	株式会社ニコンインステック
株式会社アップルドクター	日本インターシステムズ株式会社
アベンティスファーマ株式会社	ハイブリッジ株式会社
イーピーエス株式会社	万有製薬株式会社
医学中央雑誌刊行会	株式会社ビーアイティ・サポート
財団法人医療情報システム開発センター	株式会社日立製作所
クボタコンプス株式会社	扶桑薬品工業株式会社
株式会社クラヤ三星堂	株式会社フューチャー・ウエイブ
株式会社ケアコム	松下電器産業株式会社
コダック株式会社	三菱ウェルファーマ株式会社
株式会社サトー	明治製菓株式会社
三洋電機株式会社	株式会社メディカル・プラッツ
GE横河メディカルシステム株式会社	山之内製薬株式会社
株式会社シーエスアイ	株式会社ユニゾネット
シスメックス株式会社	株式会社リコー
テクマトリックス株式会社	ロータス株式会社
テルモ株式会社	株式会社ワコム

【特別協賛企業】(五十音順)

旭化成情報システム株式会社

オリンパスプロマーケティング株式会社

株式会社セーレンシステムサービス

株式会社テプコシステムズ

東芝メディカル株式会社

長瀬産業株式会社

日本アイ・ビー・エム株式会社

日本光電工業株式会社

日本電気株式会社

富士通株式会社

横河電機株式会社

プログラム時間帯別表

第1日目：11月26日（月）

	A会場 (ホール500)	B会場 (ホール300)	C会場 (908)	D会場 (909)	E会場 (904)	F会場 (905)	G会場 (906)	H会場 (907)
9:00	受付							
10:00		1-B-1 一般口演 「電子カル テシステムの 開発」	1-C-1 パネルディ スカッション 「フィルム レスシステ ムの導入と 課題」	1-D-1 一般口演 「病院情報 システムの 設計・開発 ・運用」	1-E-1 オーガナイ ズドセッシ ョン「医学 情報学教育 のカリキュ ラムの現状 と課題」	1-F-1 一般口演 「介護・福 祉情報シス テム」	1-G-1 一般口演 「看護情報 システムの 導入とその 影響評価」	1-H-1 一般口演 「知識処理 ・ニューラ ルネット」
11:00								
12:00	昼食							
13:00	1-A-1 特別シンポ ジウム 「新世紀の 医療への挑 戦と医療情 報の役割」							
14:00								
15:00					1-E-2 一般口演 「情報学教 育」		1-G-2 一般口演 「看護管理 業務支援シ ステム」	
16:00	1-A-2 シンポジウ ム 「HIPAAの 動向」	1-B-2 一般口演 「電子カル テの入力方 式」	1-C-2 パネルディ スカッション 「これか らの医療情 報技術者に 求められる 能力とその 育成」	1-D-2 一般口演 「外来診療 システム」		1-F-2 一般口演 「施設間連 携システム (1)」		1-H-2 一般口演 「生体情報 モデル・シ ミュレーシ ョン」
17:00				1-D-3 一般口演 「入院診療 システムと 物流システ ム」	1-E-3 一般口演 「教育支援 のためのツ ール」	1-F-3 一般口演 「施設間連 携システム (2)」	1-G-3 一般口演 「看護ケア 支援システ ム」	1-H-3 一般口演 「医学医療 データ解析
18:00								
19:00		1-B-3 ワークショ ップ 「コンピュー ター外科」	1-C-3 ワークショップ 「患者情報 の共有化と プライバシー 保護—2005年 の地域医療 ネットワーク 実現に向け て—」	1-D-4 ワークショ ップ 「病名の標 準化とその 普及」	1-E-4 ワークショップ 「口腔領域 の医療情報 電子化はこ こまで来た —診療録の 電子化と 製読請求業 務の電子化	1-F-4 ワークショップ 「地域の 医療福祉 にウェブ 技術ができ ること、な すべきこと」	1-G-4 ワークショ ップ 「看護の研 究・教育と 図書館の接 点」	1-H-4 ワークショ ップ 「インター ネット時代 における図 書館サービ ス」
20:00								

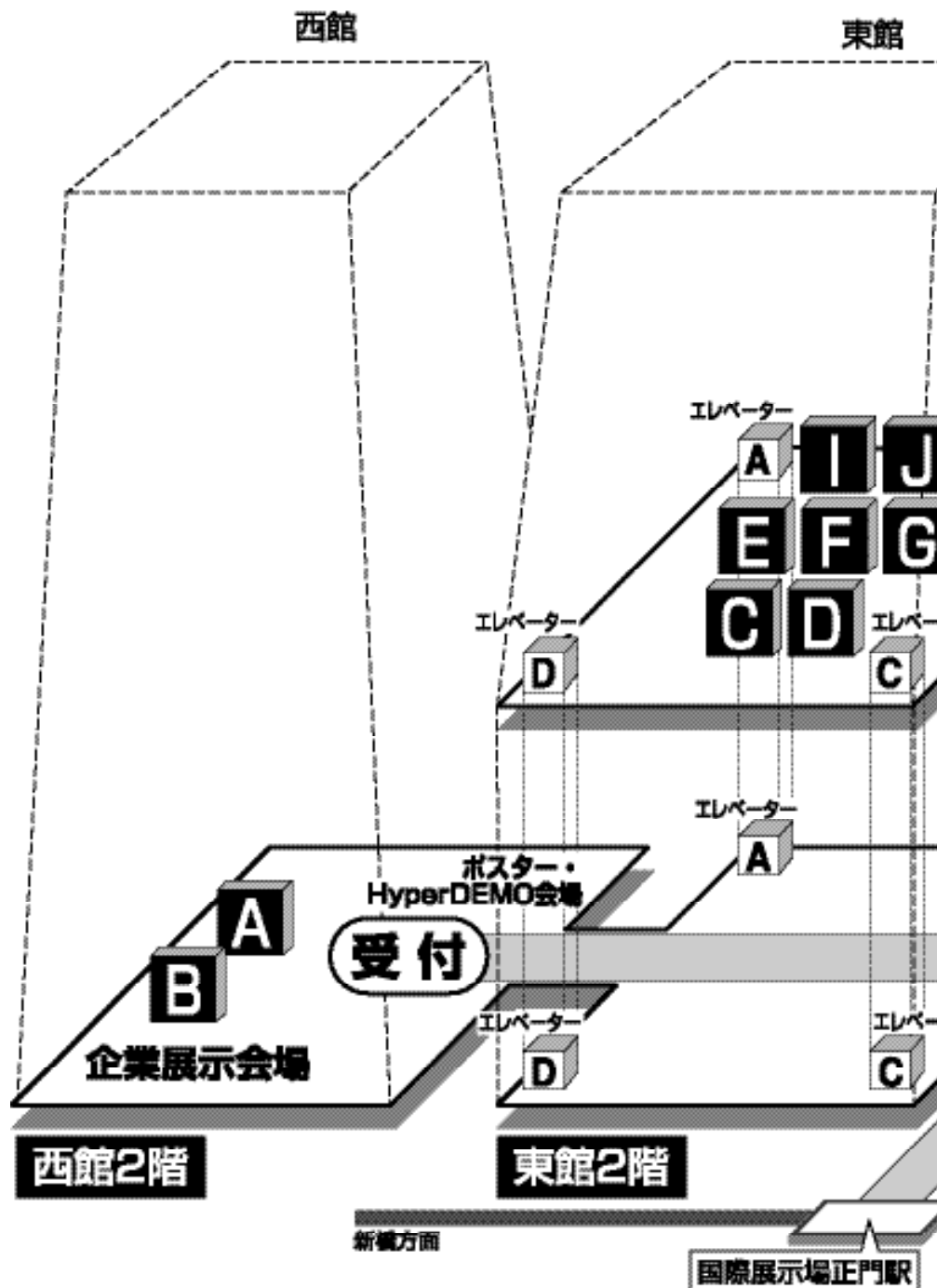
第2日目：11月27日（火）

	A会場 (ホール500)	B会場 (ホール300)	C会場 (908)	D会場 (909)	E会場 (904)	F会場 (905)	G会場 (906)	H会場 (907)	
9:00	2-A-1 シンポジウム「EBM に役立つ医療資料バー コード表示 ・利用とその課題」	2-B-1 パネルディスカッション「診療形態を考慮した電子カルテの選択」	2-C-1 一般口演 「画像のフアイリングと配信(1)」	2-D-1 一般口演 「病院情報システムの品質管理と情報共有」	2-E-1 一般口演 「情報モデルと情報交換の標準化」	2-F-1 一般口演 「公衆衛生・広域情報システム」	2-G-1 一般口演 「看護記録の電子化」	2-H-1 一般口演 「数理統計解析」	
10:00			2-C-2 一般口演 「画像のフアイリングと配信(2)」	2-D-2 一般口演 「電磁波障害とその対策」	2-E-2 一般口演 「情報の標準化と共有・公開」	2-F-2 一般口演 「健康管理」	2-G-2 オーガナイズドセッション「看護記録の電子化とその課題」	2-H-2 一般口演 「予後予測」	
11:00				2-D-3 一般口演 「放射線情報システム」					
12:00	昼食								
13:00	2-A-2 特別講演 (1) Networking Health : Prescription for the Internet								
14:00									2-A-3 大会長講演「地域保健・医療・福祉と情報システム」
15:00									2-A-4 学会長講演「日本医療情報学会の課題」
16:00		2-B-2 オーガナイズドセッション「情報システムにおける診療ガイドラインの活用」	2-C-3 一般口演 「医用画像解析」	2-D-4 一般口演 「臨床検査・輸血情報システム」	2-E-3 一般口演 「医療アセスメント」	2-F-3 一般口演 「医療情報提供サービスシステム」	2-G-3 パネルディスカッション「リスクマネジメント支援—看護の現場を覚えるか、変えられるか—」	2-H-3 一般口演 「診療支援・意思決定支援システム」	
17:00									
18:00	懇 会 (18:30～) 東京ベイ有明ワシントンホテル「アイリス」								
19:00									
20:00									

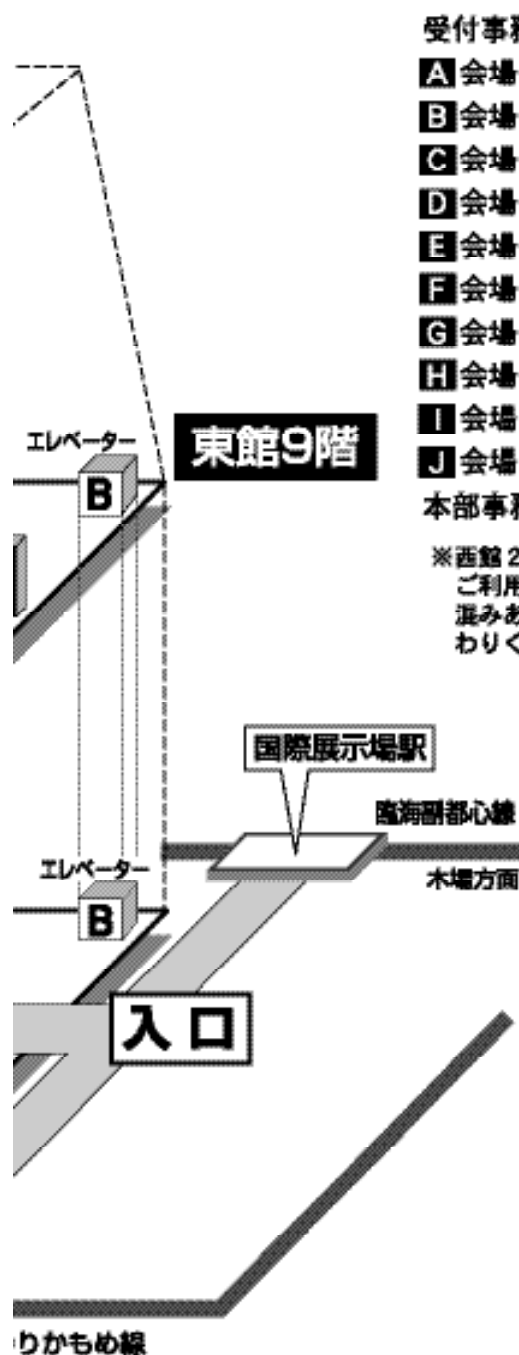
第3日目：11月28日（水）

	A会場 (ホール500)	B会場 (ホール300)	C会場 (908)	D会場 (909)	E会場 (904)	F会場 (905)	G会場 (906)	H会場 (907)
9:00		3-B-1 一般口演 「セキュリティ」	3-C-1 一般口演 「遠隔医療 (1)」	3-D-1 一般口演 「病院経営 管理」	3-E-1 一般口演 「コード・シ ソーラス」	3-F-1 一般口演 「ネットワ ークによる 医療支援」	3-G-1 一般口演 「薬剤情報 システム」	
10:00	3-A-1 シンポジウ ム「リスク マネジメン ト-インシ デントレポ ートを中心 として-」			3-D-2 一般口演 「医療分析・ 病院管理」				
11:00		3-B-2 一般口演 「プライバシー 保護」	3-C-2 一般口演 「遠隔医療 (2)」	3-D-3 一般口演 「診療録管理」	3-E-2 一般口演 「学術情報 システム・ 臨床研究支 援」	3-F-2 一般口演 「情報に関 する調査」		
12:00		昼食						
13:00								3-H-1 ワークショ ップ「新研 究領域創造 研究会」
14:00	3-A-2 特別講演(2) 「ゲノム情報に 基づくオーガ ナイズド医療 に向けて」							
15:00	3-A-3 シンポジウ ム「医療情 報の国際標 準-ISO TC215 の活動をめ ぐって-」	3-B-3 オーガナイ ズドセッシ ョン「電子 カルテの稼 働経験と評 価」	3-C-3 一般口演 「リスクマネ ジメント」		3-E-3 オーガナイ ズドセッシ ョン「学部 ・大学院に おける看護 情報学教育 は何をめざ すべきか」		3-G-2 オーガナイ ズドセッシ ョン「電子 カルテと薬 剤業務」	
16:00						3-F-3 ワークショ ップ「次世 代ネットワ ークの医療 応用」		
17:00								

東京ファッションタウンビル

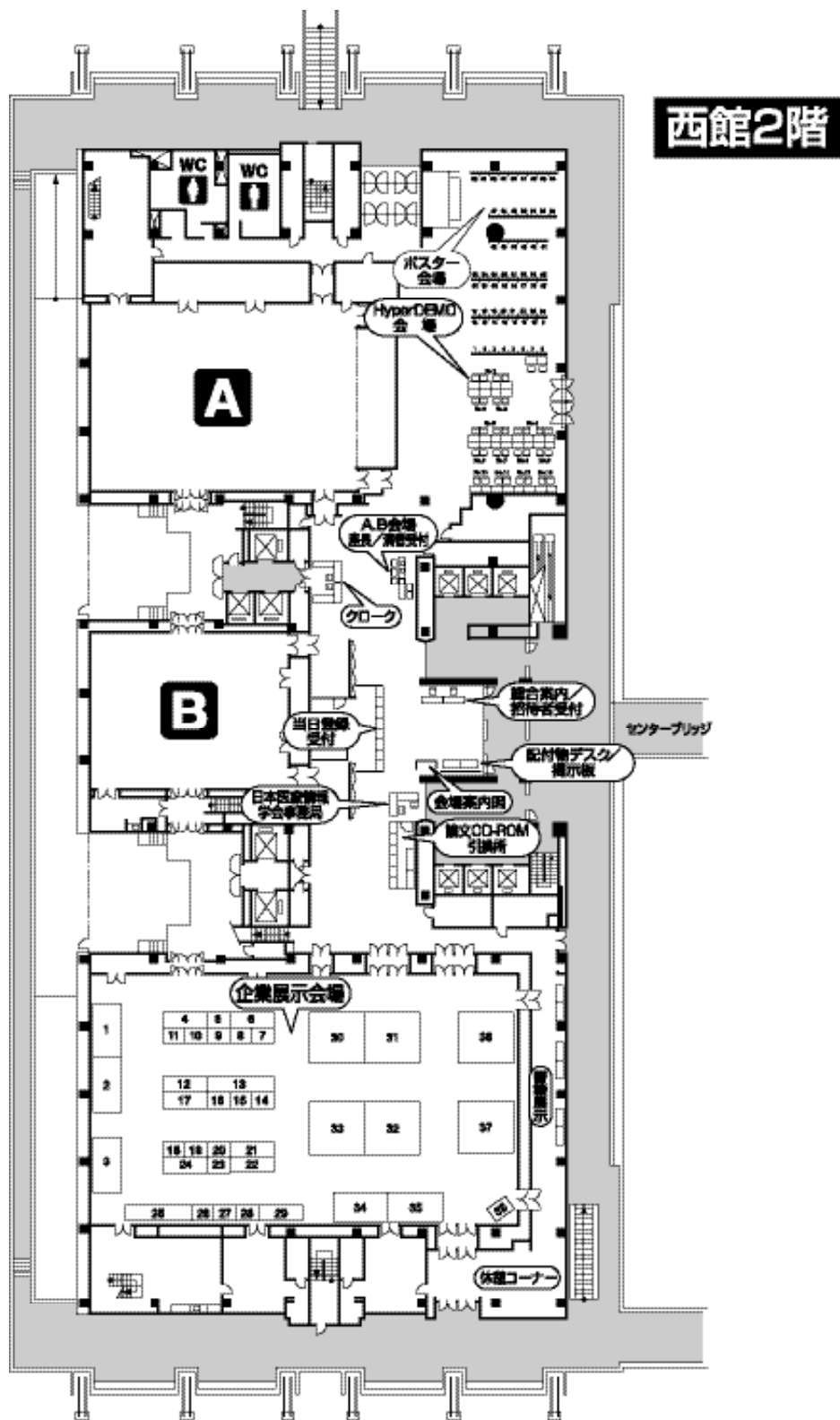


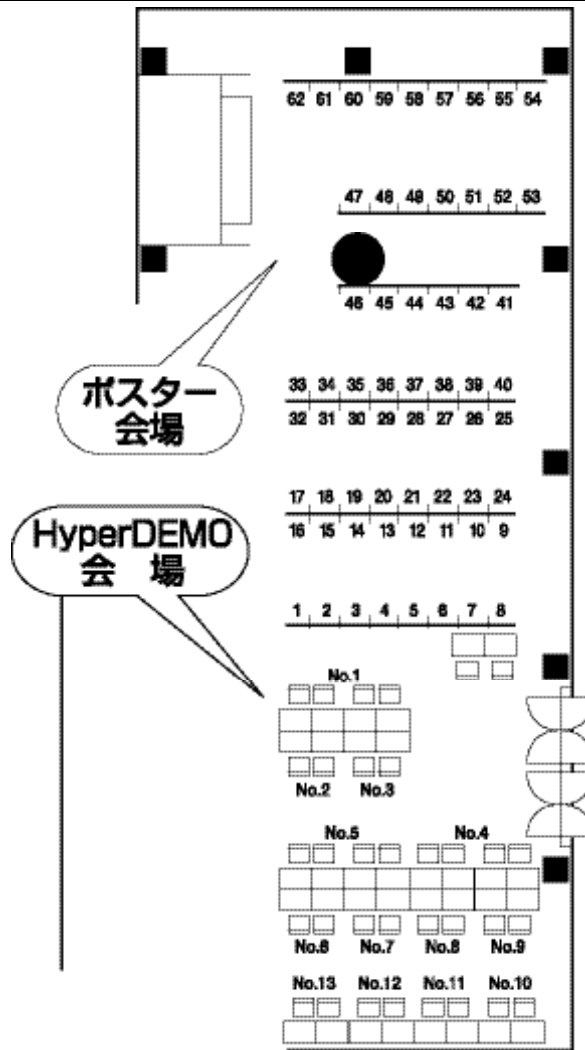
「FTビル」



- 受付事務局…………… 西館 2 階ロビー
- A**会場…………… 西館 2 階 (ホール500)
- B**会場…………… 西館 2 階 (ホール300)
- C**会場…………… 東館 9 階 (研修室908)
- D**会場…………… 東館 9 階 (研修室909)
- E**会場…………… 東館 9 階 (研修室904)
- F**会場…………… 東館 9 階 (研修室905)
- G**会場…………… 東館 9 階 (研修室906)
- H**会場…………… 東館 9 階 (研修室907)
- I**会場…………… 東館 9 階 (研修室901)
- J**会場…………… 東館 9 階 (研修室902)
- 本部事務局…………… 東館 9 階 (研修室9-C)

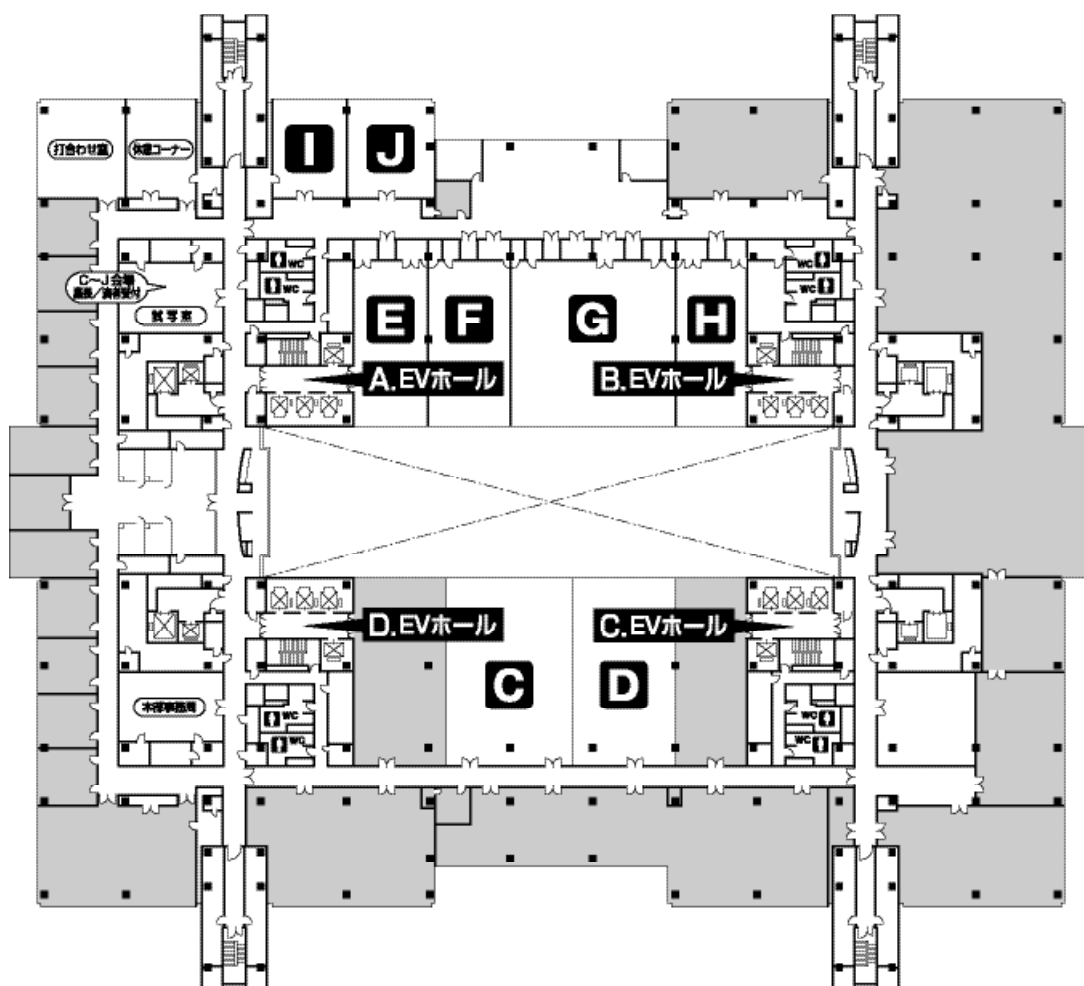
※西館 2 階と東館 9 階との移動にはエレベーター A
のご利用が便利です。
混みあっている場合にはエレベーター B～D へおま
わりください。





No.	出展社名	No.	出展社名
1	日本アイ・ピー・エム(株)	20	扶桑薬品工業(株)
2	(株)セーレンシステムサービス	21	シスメックス(株)
3	東芝メディカル(株)	22	(株)トーショー
4	テクマトリックス(株)	23	(財)医療情報システム開発センター
5	(株)ユニゾネット	24	クボタコンプス(株)
6	GE横河メディカルシステム(株)	25	(株)クラヤ三星堂
7	(株)ワコム	26	(株)リコー
8	(株)ピーアイティ・サポート	27	テルモ(株)
9	ロータス(株)	28	(株)アステックコーポレーション
10	(株)ニコンインステック	29	(株)ケアコム
11	(株)アップルドクター	30	横河電機(株)
12	(株)日立製作所	31	富士通(株)
13	コダック(株)	32	オリンパスプロマーケティング(株)
14	ハイブリッジ(株)	33	旭化成情報システム(株)
15	(株)浅沼商会	34	長瀬産業(株)
16	三洋電機(株)	35	日本光電工業(株)
17	松下電器産業(株)	36	(株)テブコシステムズ
18	(株)フューチャー・ウェイブ	37	日本電気(株)
19	(株)サトー	38	医学中央雑誌刊行会

東館9階



同時開催：第3回日中韓医療情報学シンポジウム（CJKMI2001）のおしらせ

大会第2日目（11月27日(火)）I会場およびJ会場にて
主なプログラム

- (1) 日中韓3国の代表による基調講演
- (2) 特別講演：E. H. Shortliffe
- (3) オーガナイズドセッション
 - 1 電子カルテに関する問題点と解決策
 - 2 遠隔医療の実践と評価
 - 3 医療情報学分野における標準化
 - 4 医療情報に関するセキュリティ管理システム
- (4) 一般公募セッション

本大会（第21回医療情報学連合大会）参加者はCJKMI2001の演題を無料聴講できます。ただし、論文集や喫茶券の配布を受けるなどフル参加資格を得るには、追加登録料（2,000円）が必要です。この追加登録は当日、CJKMI2001の会場受付にてお申し出ください。

特別講演・特別シンポジウム・会長講演

特別講演 1

2-A-2 11月27日(火) 13:00-14:00

座長：稲田 紘 (東京大学)

「Networking Health : Prescription for the Internet」

Edward H. Shortliffe (コロンビア大学医学部教授・医療情報部長)

特別講演 2

3-A-2 11月28日(水) 13:10-14:30

座長：井上通敏 (国立大阪病院)

「ゲノム情報に基づくオーダーメイド医療に向けて」

中村祐輔 (東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター長)

特別シンポジウム

1-A-1 11月26日(月) 13:00-15:30

「新世紀の医療への挑戦と医療情報の役割」

座長：高橋 隆 (京都大学)

「ウェアラブル・コンピューターの未来と医療」

豊郷和之(ザイブナーコーポレーション・日本法人社長)

「ゲノム医療時代のAIの新しい展開」

田中 博(東京医科歯科大学難治疾患研究所教授)

「Evidence-based Medicineに果たす医療情報の役割」

福井次矢(京都大学大学院医学研究科教授)

「医療のIT化と医師会総合情報ネットワーク」

西島英利(日本医師会常任理事)

連合大会会長講演

2-A-3 11月27日(火) 14:00-15:00

座長：大江和彦 (東京大学)

「地域保健・医療・福祉と情報システム」

稲田 紘(東京大学大学院工学系研究科教授)

日本医療情報学会会長講演

2-A-4 11月27日(火) 15:00-16:00

座長：秋山昌範 (国立国際医療センター)

「医療のIT化推進と医療情報学会の役割」

井上通敏(国立大阪病院 病院長)

ランチョンセミナーのご案内

1. 日本電気(株)、(株)シーエスアイ、富士通(株)

日時：11月26日(月)

会場：B会場(西館2F・ホール300)

<日本電気>

講演タイトル：“電子カルテを中心としたH I S戦略”

講演者：小西 弘通(日本電気(株)医療ソリューション事業部事業推進部主任)

<シーエスアイ>

講演タイトル：“進化する電子カルテ「M I R A I Sシリーズ」”

講演者：遠藤 一重((株)シーエスアイ東京支店支店長代理)

<富士通>

講演タイトル：“先進電子カルテソリューション”

講演者：浮嶋 敏(富士通(株)医療統括営業部医療第一営業部)

2. シスメックス(株)

日時：11月27日(火)

会場：B会場(西館2F・ホール300)

講演テーマ：“医療データ分析の新しいアプローチ”

講演タイトル：“データマイニング手法を用いた医療データのマネージメント”
～ L I S における海外での活用事例～

講演者：Theo Schumacher (SYSMEX MOLIS S. A.)

会期前及び会期中の行事

11月25日(日)

- チュートリアル1 E会場(研修室904) 13:00~14:45
「電子カルテにおける個人情報保護の実現方法 - 個人情報保護基本法の動きを交えて -」
講師: 山本隆一(大阪医科大学病院医療情報部・助教授)
- チュートリアル2 E会場(研修室904) 15:00~17:30
「HL7 version 3 実践ガイダンス - メッセージ設計から実装まで -」
講師: 坂本憲広(九州大学医学部附属病院医療情報部・講師)
- チュートリアル3 J会場(研修室902) 13:00~14:45
「統計解析によるエビデンス発見法」
講師: 赤澤宏平(新潟大学医学部附属病院医療情報部・教授)
- チュートリアル4 J会場(研修室902) 15:00~17:00
「看護の知恵を得るために: 看護ミニマムデータセットの概念と情報共有のあり方について」
講師: 太田勝正(長野県看護大学基礎看護学教室・教授)
- 日本医療情報学会 総務財務連絡会議
研修室9 - A会場 14:00~16:00
- 日本医療情報学会 MERIT-9研究会
有明パークビル2階「トラットリア アルポルト」 11:30~14:00
- 日本医療情報学会 理事会
東京ベイ有明ワシントンホテル「アイリスA」 16:00~19:00

11月26日(月)

- 日本医療情報学会 編集委員会
研修室9 - A会場 12:00~13:00

11月27日(火)

- 第3回日中韓医療情報学シンポジウム(CJKMI2001)
I会場(研修室901)およびH会場(研修室902)
- 日本医療情報学会「第6回遠隔医療研究会実行委員会」
E会場(研修室904) 13:00~15:00
- 日本医療情報学会 評議員会
東京ベイ有明ワシントンホテル「アイリス」 12:10~13:00
- 懇親会
東京ベイ有明ワシントンホテル「アイリス」 18:30~

11月28日(水)

- 日本HL7協会セミナー
D会場(研修室909) 13:00~17:00